

●瑞穂区社協だより

2026.9月

第39号

みずほっと



ほっとくん



特集

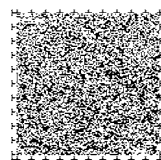
一人ひとりの気づきが、地域の力に
「自分ごと」から始まる福祉教育

トピックス

- 学区探訪 vol.13 高田学区 ●進んでいます! 第5次瑞穂区地域福祉活動計画みずホッとプラン
- こんにちは♪いきいき支援センターです!! ●HOTなきもち ●ほっとなつぶやき

■編集・発行/社会福祉法人 名古屋市瑞穂区社会福祉協議会 ■webサイト/ <http://www.mizuho-shakyo.jp>

高齢者や目の不自由な方にも専用のアプリで読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができる Uni-Voice コードを載せました。
お問い合わせは瑞穂区社会福祉協議会までご連絡ください。



Uni-Voice コード

思いやりの心を育む、福祉体験学習を 瑞穂区内の小中学校で開催しました！

車いす体験から学ぶ、相手に寄り添う「思いやりの心」 実際に車いすに乗る側、介助する側に挑戦

介助する側は「進みます」「曲がります」「上がります」など、声をかけながら押すことで、乗る人は安心感を得られることを知り、乗る人の気持ちに寄り添うことの重要性を体験。

普段は何気なく歩いている道でも、小さな段差や傾斜が大きな壁になることなどを疑似体験しました。

子ども達からは「乗った時、登ったり降りたりすることが怖かった」「思うように動かず、方向転換をすることが大変だった」といった声が上がリ、車いすに乗る人の気持ち、自分たちにできるサポートについて考えながら、操作を学ぶ貴重な機会となりました。

だれもが使いやすく
心地よい暮らしのために
ユニバーサル
デザイン

目の不自由な人にも わかるやさしい工夫

シャンプーボトルの 識別



わかりやすい ピクトグラム



ユニバーサル デザインとは…

年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、すべての人が快適に利用できるように設計されたデザインです。

歌って、話して、歌って。 しく学んだ「伝える」たいせつさ

障害当事者の方のお話しは、生活の中での工夫や実体験を手話通訳の方を介して説明していただき、子どもたちは真剣な表情で静かに耳を傾けていました。手話を使った講話では、グーチョキパーでも伝わる簡単な手話を学び、みんなで手話を使った歌にも挑戦！歌詞の意味を手話の動きに込め、体いっぱい表現しながら、会場は子どもたちと地域のボランティアさんたちで、たくさん笑顔と感動に包まれました。



マフを装着して「音が聞こえずらく聞いている友達の状況を伝える難しさや周囲の状況を感じました。」「自分の声が会場内に飛び交い、聞き取りやすくなり、伝える方法を楽しみました。」



10代のぼくたちが、80代の体に！？体験して学んだ「気づかい」の大切さ。



「見えにくい」を体験して納得！まちに隠れた、みんなに優しい工夫のヒミツ

子どもたちは白内障体験ゴーグルをつけ、視界が白くかすむ中での歩行や文字の読み書きに挑戦。「見えない不安」を体験しました。同時に、身の回りにあるシャンプーボトルのギザギザや、いろんな場所にある点字の表記など、誰もが使いやすいように工夫された「ユニバーサルデザイン」の仕組みについて学びました。



教科書を読むだけではわからない、リアルな生活や心の声に触れられる講座

病気によって視力のほとんどを失った視覚障害当事者の方をお招きし、ご自身の体験や思いをお話しいただきました。見えなくなっていくことへの不安や葛藤、そしてそれをどのように受け入れ、乗り越えてこられたかという、これまでの歩みが赤裸々に語られました。普段の生活では想像もつけない困難なお話に、子どもたちは一言も聞き漏らすまいと、真剣な眼差しで聞き入っていました。



手足に重りをつけて、筋力や体力が「いつも通りに」もどかしさや、高齢者疑似体験は、人、おばあちゃんの手、重な体験です。手足が重くて大変だった「だからこそ、自分から一歩進んだ気がする」から軽々と登れる階段をめぐり、ベットの重さ、子どもたちの声、きな優しさの一歩へ

- 気づき（知る・共感する）地域社会にある課題や、生きづらさを抱えている人々の存在、その背景にある社会的な壁（バリア）に気づき、他者への共感を育みます。
- 考え・理解する（当事者目線）「自分事」として捉え、どうすれば誰もが暮らしやすくなるかを客観的に理解します。

笑顔と絆が広がる 高田学区のまちづくり

高田学区では、「助け合う高田」を合言葉に、子どもから高齢者まで楽しめる行事を年間を通じて開催しています。

夏の恒例行事

夏の恒例行事である8月の盆踊り大会には、約1,300名が参加。高田小学校校庭いっぱいに踊りの輪が広がり、老若男女が笑顔で交流する、夏の風物詩となっています。

スポーツ行事

スポーツ行事も大人気です。インディアカ大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会には多くの住民が参加し、会場は笑顔と歓声に包まれ、毎年楽しみにされています。

三世代交流会

10月の三世代交流会では、子どもたちを囲みながら、お父さん・お母さん世代、お爺ちゃん・お婆ちゃん世代と一緒に楽しみ、世代を超えた温かな交流の場となりました。

防災活動

豆田公園では年4回「スタンドパイプ訓練」を実施。毎回約50名が参加し、高田消防団の協力のもと、地下消火栓を使った実践的な放水訓練を行っています。さらに10月には自主防災訓練を実施。みずほ大学学生会とも連携し、地域ぐるみで防災意識を高めています。

子どもクラブ活動

ボウリング大会やスケート講習会を開催。子どもたちは元気いっぱいに交流し、楽しい思い出をつくっています。

もちつき大会

12月のもちつき大会には、高齢者や高田小学校トワイライトスクール生など約80名が参加。「よいしょ」の掛け声とともにつき上げたおもちを囲み、地域の絆を深めました。

これからも高田学区は、人と人とのつながりを大切にしながら、笑顔あふれる地域づくりを進めていきます。

進んでいます！

第5次瑞穂区地域福祉活動計画

みんなが ずっと ホッとできる

みずほっとプラン 2024-2028

地域福祉活動計画とは

社会福祉法において、「地域住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画」と定義されています。

5か年の計画として、地域の方々、ボランティアの方々、福祉関係者の方々、企業の方々とともに策定し、地域福祉を進めていくものです。

第5次瑞穂区活動計画について



でチェック!!

「つなげよう和く輪く部会」の活動

今回は、第5次瑞穂区地域福祉活動計画における「つなげよう和く輪く部会」の活動をご紹介します。

この部会では、活動計画の目標2「困りごとを抱えた人たちを受けとめ、支え合える仕組みをつくる」の実現に向け、3つの事業に取り組んでいます。

主な取組事項

事業6 ふれあいネットワーク活動の拡充～協力事業者との連携～

スーパーなど、住民の暮らしに身近な事業者へ協力を呼びかけ、地域ぐるみで見守りや助け合い、支え合いを進めています。

「認知症の人にやさしい店」の周知のため、堀田本町商店街の各店舗へ訪問しました!!



事業7 子どもを支える地域の取組の推進

地域全体で子どもを見守り、子どもの変化やSOSに気づき、受けとめられるよう、子ども食堂などとの連携を進めています。

子ども食堂・コミュニティ食堂交流会にて「子どものSOSを受け止める場としての役割」をテーマに、意見交換をしました!!



事業8 相談しやすいサロンづくり

生活上の困りごとや子育ての不安などを早期に把握し、必要な支援につながれるよう、気軽に相談できるサロンづくりに取り組んでいます。

参加者との信頼関係・顔の見える関係づくりを培うため、運営者のスキルアップを図る研修を開催しました!!



こんにちは♪ いきいき支援センターです!!

その
1

「配食(お弁当配達)サービスの情報」がリニューアル!

瑞穂区にお住まいの方にご利用いただける、配食サービスの情報を掲載した冊子です。事業所の営業情報や利用料金、商品のイメージ画像等をご覧ください。冊子は東西いきいき支援センターでお渡ししている他、ホームページでも公開中です!

なお、介護保険適応の料金でご利用いただくためには「要介護認定」もしくは「事業対象者認定」が必要になります。詳しくはいきいき支援センターまでお問い合わせください。



その
2

「認知症サポーター養成講座」のご紹介

認知症サポーター養成講座とは、**地域で認知症の人や家族を見守るために、基本的な認知症の症状や対応方法を学ぶための講座**です。受講者には、認知症サポーターの証としてオレンジリングをお渡ししております。受講ご希望の方はお近くのいきいき支援センターまでお問い合わせください。団体や企業での講座開催も常時受付中です。



令和8年度 下半期(令和8年10月~3月)「認知症の人を介護する家族支援事業」のご案内

1 認知症家族教室(10月~2月)

対象：認知症の人を介護しているご家族

認知症の人を介護しているご家族は、いろいろと不安に感じたり悩んだりされることと思います。この教室では、認知症の知識を深め、介護者同士の交流をとおして、一人で悩まず介護できるようにお手伝いいたします。

2 家族サロン

対象：認知症の人を介護しているご家族・介護経験のある方

認知症の人を介護しているご家族が、不安や悩み(たまにはグチも…)を自由に話し合える場です。介護や生活の情報を交換して、少しホッとしていただけようお手伝いいたします。

3 もの忘れ相談医による専門相談

対象：もの忘れのことで不安のある方・ご家族

もの忘れ相談医とは、認知症診断の知識・技術、ご家族からの悩み等の相談に応じるための研修を修了している、地域の専門医師のことです。その医師と認知症の症状や治療について気軽に個別相談できる場です。

東部 第2金曜日	西部 第3火曜日
10時00分~ 12時00分 ※11月は13時30分~ 15時30分	13時30分~ 15時30分

東部 第1水曜日	西部 第4木曜日
13時30分~ 15時30分	13時30分~ 15時30分

東部 第2木曜日	西部 第4水曜日
13時30分~ 15時00分 ※2月は第1木曜日	13時30分~ 15時00分

お問い合わせ先・申込先

●瑞穂区東部いきいき支援センター

電話 858-4008 FAX 842-8122

●瑞穂区東部いきいき支援センター分室

電話 851-0400 FAX 851-0410

担当地域 豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区

●瑞穂区西部いきいき支援センター

電話 872-1705 FAX 872-1707

担当地域 御劔・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区

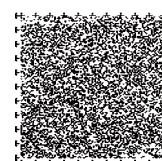
お友だち
募集中!



公式 LINE



ホームページ



令和
8年度

賛助会員を募集しています

本会では区民の皆さまに賛助会員になっていただき、その会費を財源とした様々な事業を実施しております。皆様からお寄せいただきました賛助会費は、地域福祉活動を進めるための大きな役割を果たしており、貴重な財源として活用させていただいております。

※賛助会費は、税法上の優遇措置を受けることができます。(法人の方は損金算入)
個人会員の場合は2,000円を超える額から控除対象となります。

各学区で集められました賛助会費については、来年度の地域福祉活動の財源として9割、残りの1割は瑞穂区全体の地域福祉活動のために役立てられます。

賛助会費がささえる
身近な地域の福祉活動



令和8年度
賛助会費
年会費

《個人》 1口 1,000円
《法人・団体》 1口 10,000円

令和7年度 賛助会員ご紹介(法人・団体) ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます【順不同・敬称略】

- ・社会福祉法人 あいうえおハウス
- ・有限会社アイ・ケーサポート
- ・医療法人一樹会 浅野眼科クリニック
- ・朝日美業株式会社
- ・石原機械株式会社
- ・医療法人愛明会 いしはらクリニック
- ・岩野屋
- ・有限会社オオタサイクル
- ・岡崎信用金庫 瑞穂支店
- ・株式会社 KAERU かえる訪問看護ステーション
- ・衣浦イーテクト株式会社
- ・医療法人ホープ 久米クリニック
- ・ケアプランセンター陽明
- ・株式会社興和工業所
- ・株式会社社瑠珀

- ・駒田印刷株式会社
- ・株式会社さくらリパース
- ・昭和青色申告会
- ・株式会社シュテルン名古屋南
- ・すがの皮膚科
- ・医療法人浩聖会 すぎやま歯科
- ・認定 NPO 法人 すけっとファミリー
- ・学校法人瀬木学園
- ・医療法人幸世会 セントラル堀田
- ・そんぼの家高辻
- ・タック株式会社
- ・有限会社ダイユー
- ・中電不動産株式会社
- ・有限会社妻木興業
- ・TK クリニック

- ・株式会社東海商事
- ・東名水処理株式会社
- ・株式会社富屋酒店
- ・医療法人名古屋復興館 長屋眼科
- ・特別養護老人ホーム なごやかハウス岳見
- ・医療法人幸世会 西本病院
- ・日昭電工株式会社
- ・株式会社ハイ工業
- ・医療法人誠彰会 服部医院
- ・服部美和税理士事務所
- ・株式会社ブーケ りぼんケアサービス
- ・丸太運輸株式会社
- ・株式会社丸菱
- ・産婦人科 水野クリニック
- ・みずほ在宅支援クリニック

- ・三井住友銀行 八事支店
- ・村上建設工業株式会社
- ・株式会社安江
- ・株式会社ヤマイチテクノ名古屋支店
- ・山内殖産株式会社
- ・合資会社山岸製材所
- ・株式会社山田産業
- ・株式会社山田餅本店
- ・若葉自動車株式会社

賛助会費の使いみち・
振込先などはこちら▶



※掲載を希望された会員様(法人・団体)のみ掲載しています。

令和7年度 賛助会費 総額 3,458,000円 《個人》3,013,000円 《法人》445,000円

地域福祉推進功績団体 市長感謝状贈呈

令和8年1月22日(木)、名古屋市総合社会福祉会館7階大会議室において、名古屋市地域支えあい事業の実施期間が10年以上となる学区を対象とした「市長感謝状贈呈式」が行われました。
瑞穂区では昨年度、「堀田学区」が受賞しており、地域住民による支え合い活動が広がり、誰もが安心して暮らせるまちづくりが期待されます。



HOT なきもち

本会にご寄付いただき、ありがとうございました。

(令和7年12月~令和8年5月末)
※順不同

寄付金

- 日本キリスト教団 尾陽教会 様
- 名古屋市瑞穂生涯学習センター館長 永田悦也 様
- 匿名 2名

※お寄せいただいた寄付金は本会地域福祉基金として受け入れ、その果実(利息)により、各種社会福祉事業の実施等、地域福祉の推進に活用させていただいております。

寄付物品

- 長谷川幹雄 様 ●真好天神社 氏子総代会 会計 和田敬市 様
 - その他、家電、毛糸、紙おむつ、座布団等を多数の方からご寄付いただきました。
- ※寄付物品につきましては、本会事業に活用させていただきます。

ほっとなつぶやき

編集後記



ユニバーサルデザインは障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが利用しやすい社会を目指す考え方として進化を続けています。近年はバリアフリー化だけに留まらず、デジタル技術や多言語対応、視覚・聴覚に配慮した「分かりやすさ」そのものが重要な価値となっています。直感的に情報を伝えるピクトグラムも多様な背景を持つ人々をつなぐ共通言語としてその役割を広げています。
今年開催されるアジア・アジアパラ競技大会は、ホスト区である瑞穂区が共生社会への理解を深める絶好の機会です。社会福祉協議会が目指す地域福祉も、障がいのある人もない人も互いに尊重し支え合う地域づくりにあります。この大会を契機に、「意識のバリアフリー」の輪が地域全体へさらに広がることを期待しています。(丹下)

社会福祉法人
名古屋市瑞穂区社会福祉協議会
〒467-0016 名古屋市瑞穂区佐渡町3丁目18番地

電話

(052)841-4063

FAX

(052)841-4080

webサイト

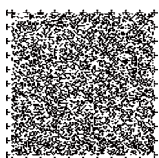
<http://www.mizuho-shakyo.jp>

メールアドレス

mail@mizuho-shakyo.jp



編集・発行



最寄駅

地下鉄 桜通線瑞穂区役所駅
下車260m(区役所東方面)

